

高校保健・副教材の使用中止・ 回収を求める緊急集会 高校生にウソを教えるな！

そこまでして女性に早く産ませたいのでしょうか。

これは日本社会の、とりわけ生殖科学、医学、教育行政の倫理が問われる問題です。

少子化社会対策大綱の具体化策として、内閣府が文科省と連携して作製した高校・保健副教材のグラフに改ざんとしか考えられない「誤り」がありました。女性の「妊娠しやすさ」が22歳にくっきりしたピークがあり、20代のうちにかなり減少するというグラフです。

そのうえ、文科省が発表した訂正後のグラフにも、なお重大な問題が指摘されています。「誤り」を犯した経緯も、責任の所在も明らかにされていません。

多様な生と性を抑圧するこの副教材、グラフ以外にも「科学的」な問題が随所にあります。全国に130万部配布されたといいます。

高校生にウソを教えるはなりません。

**「科学」を騙（かた）った副教材の問題群をさらに摘出、明示し、
即時の使用中止、回収を求める緊急集会を開催します。ぜひご参加下さい。**

日時：2015年9月11日（金）

18時30分～20時30分（開場18時）

会場：東京ウィメンズプラザ 1F 視聴覚室A・B

参加費：無料（資料代等500円程度のカンパをお願いします）

申込み：不要 先着60名

【発言者（順不同）】

◆高橋さきの（お茶の水女子大学非常勤講師／科学技術論）

◆柘植あづみ（明治学院大学教員／生殖医療問題）

◆鈴木良子（フィンレイジの会）

◆大塚健祐（レインボー・アクション／調整中）

…ほか調整・交渉中（随時更新）

【呼び掛け団体】

「高校保健・副教材の使用中止・回収を求める会」

レインボー・アクション

問合せ先：stopkyouzai@gmail.com 西山千恵子